公共・産業用

定置型リチウムイオン蓄電装置

いま必要な節電と、明日の安全への備えを。

◆学校などの公共施設の防災対策として　◆企業のBCP対策として　◆平常時の節電対策として

平常時はピークシフト用途に、
高信頼の備蓄性能に加え、フレキシブルな

高い安全性と長寿命でいつでも安心を提供

高い安全性能

リチウムイオンバッテリには熱安定性や保存特性に優れた**オリビン型リン酸鉄リチウムイオン**を採用。

熱安定性　保存特性

電池工業会規格「産業用リチウム二次電池の安全性試験（単電池及び電池システム）」（SBA S1101:2011）に準拠。

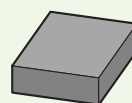
長 寿 命

室温（23℃）で1日1回の充電・放電を行った場合、**10年以上の使用が期待**できます。充電・放電のサイクル寿命は、放電深度（注1）に左右されません。

（注1）電池の定格容量に対する放電電気量の比率のこと。多くの二次電池の寿命を左右する要因です。

期待寿命 10年

高い拡張性

1.2kWh単位のバッテリモジュールを**最大8個（9.6kWh）**（注2）まで搭載可能です。

1.2kWh×8＝**9.6kWh**

（注2）最大9.6kWhは、定格容量8.8kWh仕様の場合ラック増設により19.2kWhまで拡張することも可能。

用途に応じた給電方式

UPSモード（インバータ給電方式）は、停電時にも無瞬断で負荷に電力を供給します。**省エネモード**（バイパス給電方式）は、電力変換による損失を最小限に抑えます。

幅広い用途に対応

防災対策として、停電時のバックアップ電源に使用できます。また、**節電対策**として、電力ピーク時のピークシフト（負荷平準化）に使用できます。

非常用電源入力

停電時に太陽光発電システムの電力を入力できます。

AC入力タイプ：パワーコンディショナの自立運転出力を入力。
DC入力タイプ：太陽光パネルの直流出力を入力。

３つの動作モードで用途に合わせて柔軟に活用可能

自動運用モード

自動運用モードは、用途に応じてあらかじめ条件を設定し自動で運転させるモードです。運用方法には、災害や停電時などの防災対策に最適な『バックアップ運用』と、電力ピーク時のピークシフトなどの節電対策に最適な『ピークシフト運用』の2つの運用が選べます。

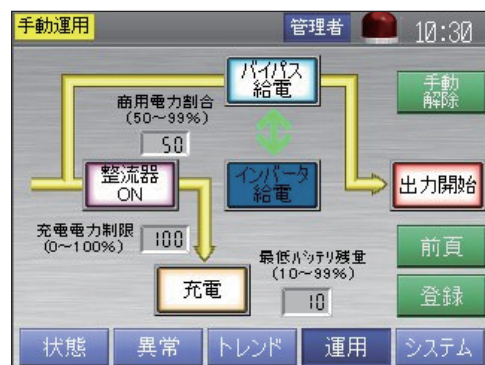
バックアップ運用

災害時・停電時の防災対策にもっとも最適な運用です。

ピークシフト運用

電力ピーク時のピークシフトなどの節電対策に最適な運用です。
ピークシフト運用では、『タイマー設定を用いる方法』と『デマンド監視装置を用いる方法』の2つの方法が選べます。

●タイマー設定を用いる方法
充電時間帯、放電時間帯をタイマーで設定し運用する方法です。

●デマンド監視装置を用いる方法
充電時間帯はタイマーで設定し、放電タイミングをデマンド監視装置の信号入力で運用する方法です。

タッチパネルでモード選択も簡単

手動運用モード

手動でバッテリーの充電・放電を操作できるモードです。自動運用/非常時運用モード中に手動運用モードに切り替え充電・放電の操作を行った後、手動運用モードを解除すれば、自動運用/非常時運用モードに復帰します。

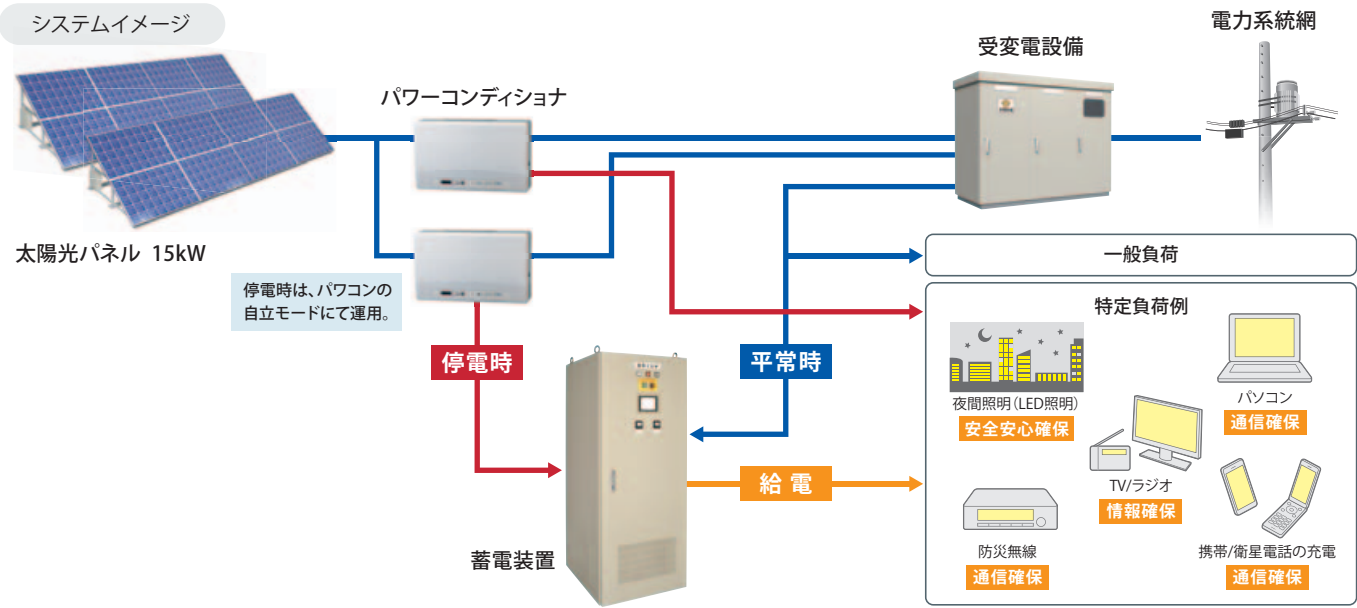
非常時運用モード

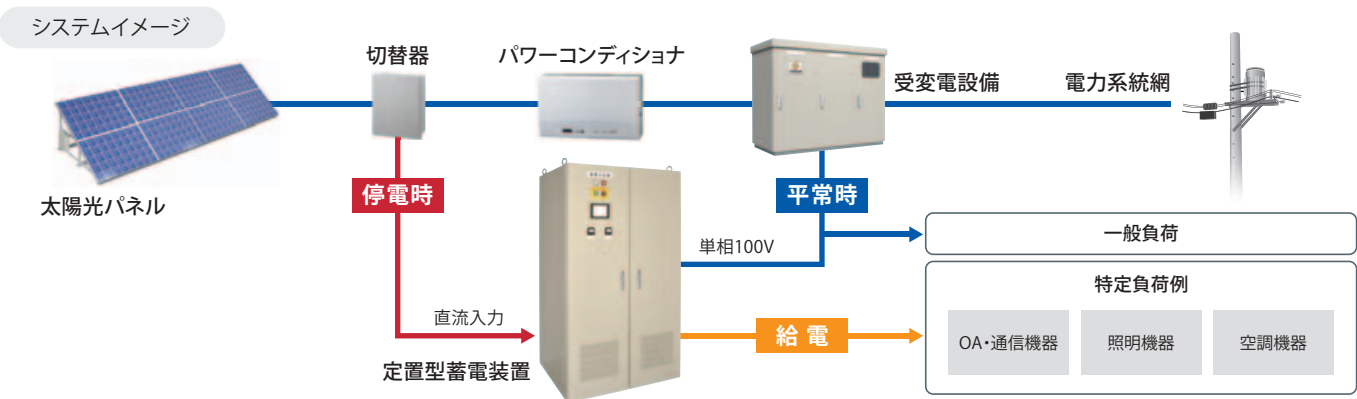
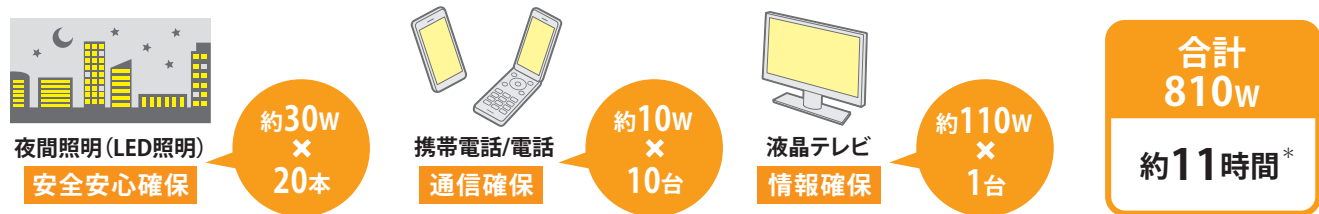
停電時に非常用電源入力がある場合、自動で切り替わるモードです。太陽光発電システムの電力を用いて、停電時にも、充電や特定負荷への電力供給が可能です。

災害時・停電時はバックアップ電源として――
動作モード対応で幅広いシーンで活用できます

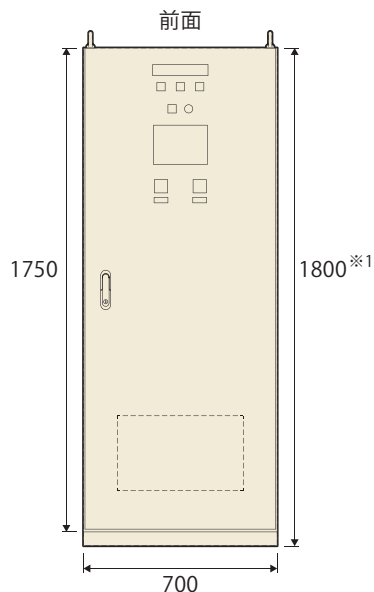
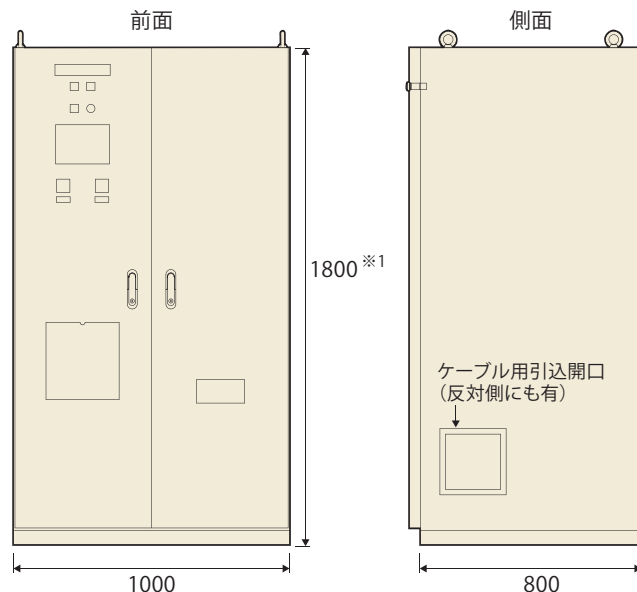
運用事例

AC入力タイプ

昼間に太陽光パネルで発電した電力を蓄電池に貯め、夜間に蓄電池より特定負荷に電力を供給。
停電時は、パワーコンディショナの自立運転出力を入力することで、一定の運用を維持できます。

NEW DC入力タイプ

停電時には、太陽光発電システムで発電した電流を直流のまま入力できます。昼間に貯めた電力を、夜間などに蓄電池より特定負荷に電力を供給。長期停電の場合でも、最低限の運用を維持できます。

停電発生時の供給負荷例

＊本数値はあくまで目安であり、環境条件、機器の仕様、使い方等により変化します。

◆外形寸法

AC入力タイプ

DC入力タイプ

※1　ベース部分50mmを含む

◆一般仕様

項　目		仕　様	
充電入力タイプ		AC入力	DC入力 ※2
交流入力	電圧	単相2線式100V	
	定格入力容量	5kVA	
交流出力	電圧	単相2線式100V	
	定格出力容量	5kVA/3.5kW	
太陽光発電入力	入力数	―	3
	入力電圧	―	DC100V-400V ※3
	入力電流	―	最大25A ※4
バッテリ ※5	種類	オリビン型リン酸鉄リチウムイオン電池	
	定格容量	9.6kWh	
	利用可能容量 ※6	最大利用可能容量の7～100%	
充放電	バックアップ時間 ※7	約2時間	
	充電時間 ※8	約7時間	
外形寸法		高さ1800mm×幅700mm×奥行840mm	高さ1800mm×幅1000mm×奥行840mm
質量		約400kg	約485kg
設置環境 ※9		屋内設置	

※2　太陽光発電システム以外での使用はできません　※3　1入力あたりの電圧範囲　※4　1入力あたりの最大電流
※5　使用済みバッテリモジュールの廃棄に関しては、販売代理店へご連絡ください
※6　バッテリの電力は、本製品内部の機器にも利用されるため、負荷に供給できる容量はこれより小さくなります
また、最大利用可能容量はバッテリの利用状況に応じて変化します
※7　定格出力時、周囲温度25℃時、初期値
※8　約95%まで充電する時間入力電圧AC100V、周囲温度25℃、無負荷時
※9　本装置は屋内専用ですが、屋外設置可能なオプションもございます
オプションを使用して屋外に設置する場合でも直射日光を遮蔽版などで覆う必要があります

●本紙には主に機種選定に必要な情報を掲載し、ご使用上の注意事項等は掲載しておりません。●ご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容については、必ず取扱説明書をお読みください。
●商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。印刷物と実物では多少色柄が異なる場合があります。あらかじめご了解ください。
●情報機器や医療機器などからは、離して設置してください。●生命維持などに関わる医療機器への給電には使用しないでください。●蓄電池容量の拡張をご希望の場合は、別途ご相談ください。

オムロン株式会社 環境事業推進本部
オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社 環境ソリューション事業部

〒108-0075　東京都港区港南2丁目3番13号 品川フロントビル7F
〒600-8530　京都市下京区塩小路通堀川東入
http://www.omron.co.jp/energy-innovation/　E-mail info_energyinnovation@omron.co.jp

お問い合わせ窓口
0120-085-606
受付 9:00～17:00(土日祝日除く)

カタログ番号 **GABT-12C** 2013年11月現在

オムロン商品のご用命は